

本指導案は、国立教育政策研究所教育課程センターから評価等に関する資料が公表される前の、編集段階の教師用指導書を元に作成しております。
 そのため、本時の目標やめあてについては、供給版の指導書と異なる部分があります。また、評価規準についても編集段階の指導書と同じ記述にしているため、5領域には分けておらず、評価観点のみで、毎時間記入してあります。ご了承ください。

Unit 6 What would you like? (pp.54-61)

本単元におけるゴールとなる言語活動

「横浜発祥のメニューや横浜の食材を生かしたメニューを紹介し合って、横浜の食文化について理解を深めよう！」

指導計画 1 / 8時間 (pp.60-61)

本時目標：(仮)世界の食文化について考え、世界と日本についての理解を深める。

主な言語材料：My name is～. I'm～. I'm from～. I live in～.など

準備：指導者用デジタルブック，ふり返しカード

| 時間 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 準備物 |
|-----------|--|---|-------------|
| 導入 5分 | <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 | |
| | <p>【Small Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> pp.60-61を見て、どのような場面があるか指導者とのやり取りを通して、英語を聞いたり話したりする。 | <ul style="list-style-type: none"> pp.60-61を見て、どのような場面が示されているか、慣れ親しんできた語彙や表現を用いて確認する。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 | |
| 展開 30分 | <p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> (仮)世界の食文化について考え、世界と日本についての理解を深めよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 | |
| | <p>【Let's sing】</p> <p>What would you like?</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲を聞き、歌えるところを歌う。 | <ul style="list-style-type: none"> 実態に応じて、カラオケ機能などを使いながら歌うようにする。 | 指導者用デジタルブック |
| | <p>【Do you know?】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の料理の写真から、料理の共通点について考え、空欄に記入する。 答え合わせをする。 食事のマナーや、世界の地域によって異なる食べ方について知り、感じたこ | <ul style="list-style-type: none"> 4つの料理(パエリア, ナシゴレン, フォー, ビーフン)の共通点について考え、紙面に答えを記入するよう伝える。 答え合わせをする。 食事のマナーや世界の地域によって異 | |

| | | | |
|------------|---|---|-------------|
| | とを発表する。 | なる食べ方について考えるよう伝える。 ・クイズの答えを予想し、番号に○を記入するよう伝える。 ・考えを引き出し、答え合わせをする。 【評価】○ <input checked="" type="checkbox"/> (世界の食文化について主体的に知ろうとし、世界と日本についての理解を深めようとしている。) | |
| | 【ことば探検】 ・紙面のカタカナの語が、どこの国から来たことばかを考え、国旗と線で結ぶ。 ・答え合わせをする。 ・ほかに、どのような外来語があるか考え、空欄に記入する。 ・気付いたことをメモ欄に記入し、発表する。 | ・紙面の国旗の国名を確認する。 ・紙面のカタカナの語が、どこの国から来たことばかを考え、国旗と線で結ぶよう伝える。 ・ほかに、どのような外来語があるか考え、空欄に記入するよう伝える。 ・気付いたことをメモ欄に記入し、発表するよう伝える。 | |
| | 【日本のすてき】 Carine Lafitte (カリン・ラフィット) さん ・Carine さんについての映像や音声を視聴し、おおよその内容を理解する。 ・空欄に答えを記入する。 ・答え合わせをする。 | ・まず全体を1回流し、その映像や音声を通じて、Carine さんがどんな仕事をしているかを聞き、答えを空欄に日本語で記述するよう伝える。 ・Carine さんの仕事が仲居さん(a waitress in ryotei)であることを確認する。 ・もう一度視聴させ、分かったことを記入するよう伝える。以下のようなヒントを与えてもよい。児童が理解していない様なら、複数回聞かせる。 1) 出身地 (フランス) 2) 今住んでいるところ (弘前) 3) 建物は新しいか? 古いか? (古い) 【評価】 <input checked="" type="checkbox"/> ○ (世界と日本の文化についての理解を深めようとしている。) | 指導者用デジタルブック |
| 文字指導 5分 | 【Sounds and Letters】 ・指導者が続けて言う3文字の名前を書きとる。 | ・アルファベットチャートで小文字の名前を確認する。 ・指導者が続けて言う3文字の名前を言い、小文字を書きとるよう伝える。 ・児童の学習到達度により、言うスピードを調整する。 【評価】* <input checked="" type="checkbox"/> (複数の小文字の名前を聞き取り、書くことができる) | 指導者用デジタルブック |
| まとめ | ・ふり返しカードに記入する。 | ・児童の発表や気付きをまとめたり、日 | ふり返しカー |

| | | | |
|----|--|---|---|
| 5分 | <ul style="list-style-type: none">文化や風習に関する気付きや、言語に関する気付きを発表する。疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。 | <ul style="list-style-type: none">本の文化との同異を整理したりする。児童が発表した気付きに価値付けする。ふり返りにおいて、もっと深く知りたいことが出た場合は、それを拾い上げ、次回の Over the Horizon に関連付けるようにする。挨拶をする。 | ド |
|----|--|---|---|

Unit 6 What would you like? (pp.54-61)

指導計画 2 / 8時間 国際理解教室

本時目標：(仮)世界の食文化について考え、世界と日本についての理解を深める。

主な言語材料：This is ~. It's famous food in~. It's ~. など

準備：画用紙、ピクチャーディクショナリー (PD), ふり返りカード

| 時間 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 準備物 |
|-----------|---|---|-----|
| 導入 5分 | <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 | |
| | <p>【Small Talk】</p> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きな食べ物の話から、それらがどこの国の料理であるか 外国の食時のマナー等、食文化について知っていること | <ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い、本單元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。 | |
| 展開 30分 | <p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮)世界の食文化について考え、世界と日本についての理解を深めよう。</p> </div> | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 | |
| | <p>【Do you know? ; IUI】</p> <ul style="list-style-type: none"> IUI の母国の食に関する文化や風習について話を聞く。 日本と比較しながら、共通点や相違点を見出す。 | <ul style="list-style-type: none"> IUI が示す情報や学習のテーマを Over the Horizon と関連付くようにする。 | |
| | <p>【Q&A】</p> <ul style="list-style-type: none"> 疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。 | <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、児童と IUI の意思疎通をサポートする。 | |

| | | | |
|--------------------|--|---|-----------------------------------|
| | <p>【Challenge】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行ったことがあったり、知っていたりする地域（日本だけでなく、他国も含める）の名物料理の絵を描く。 ペア（または全体）に紹介する。 <p>[会話モデル例]</p> <p>A: Hello. This is kiritampo. It's famous food in Akita. It's delicious.</p> | <ul style="list-style-type: none"> 行ったことがあったり、知っていたりする地域（日本だけでなく、他国も含める）の名物料理の絵を画用紙に描くよう伝える。 <p>※タブレット端末で行うこともできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成した絵を用いて、AET（または児童）とデモンストレーションを行う。 <p>PD の p.11「味など」を参照し、その料理がどのようなものか説明するよう伝える。 ペア（または全体）に紹介するよう伝える。 <p>【評価】 ○<input type="checkbox"/>主（日本や他国の名物料理について、他者に配慮しながら主体的に伝えようとしている）</p> </p> | <p>PD</p> <p>画用紙</p> <p>タブレット</p> |
| <p>文字指導 5分</p> | <p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて、始まりの音と同じ単語にチェックを入れる。 | <ul style="list-style-type: none"> アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 p.95の「始まりの音③」の音声を聞いて、ribbonの「r」と始まりの音と同じ単語にチェックを入れるよう伝える。 必要に応じて、繰り返し聞かせてもよい。 <p>【評価】 *<input type="checkbox"/>知（単語の始まりの音に慣れ親しんでいる）</p> | <p>指導者用デジタルブック</p> |
| <p>まとめ 5分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ふり返しカードに記入する。 文化や風習に関する気付きや、言語に関する気付きを発表する。 疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。 | <ul style="list-style-type: none"> 児童の発表や気付きをまとめたり、日本の文化との同異を整理したりする。 児童が発表した気付きに価値付けする。 ふり返しにおいて、もっと深く知りたいことが出た場合は、それを拾い上げ、次回の Over the Horizon に関連付けるようにする。 挨拶をする。 | <p>ふり返しカード</p> |

Unit 6 What would you like? (pp.54-61)

指導計画 3 / 8 時間 (pp.54-55)

本時目標: (仮) ていねいに注文したり, 値段を尋ねたりするやり取りのおおよその内容を理解できるようにする。

主な表現: What would you like? I'd like ~. How much is it? It's ~ yen. など

準備: 指導者用デジタルブック, ピクチャーディクショナリー (PD), ワークシート (WS), 指導者用絵カード

| 時間 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 準備物 |
|-----------|--|--|-----------------------|
| 導入 5分 | <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って, 挨拶したり, 体調等について答えたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って, 挨拶したり, 体調等について尋ねたりする。 | |
| | <p>【Small Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> pp.54-55 を見て, どのような場面があるか指導者とのやり取りを通して, 英語を聞いたり話したりする。 | <ul style="list-style-type: none"> pp.54-55 を見て, どのような場面が示されているか, 慣れ親しんできた語彙や表現を用いて確認する。 ※全体でやり取りしながら, 個にも尋ねていくことで, 学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 | |
| 展開 32分 | <p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮) ていねいに注文したり, 値段を尋ねたりするやり取りのおおよその内容を理解しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら, この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら, この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 | |
| | <p>【Let's sing】 What would you like?</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲を聞き, 歌えるところを歌う。 | <ul style="list-style-type: none"> 一度曲を流し, 内容について質問する。 PD の p.9 の「飲み物」を見せてもよい。 曲を再度流し, 歌えるところを歌うように声かけする。 | 指導者用デジタルブック PD |
| | <p>【Word Link】 PD の p.9 デザート</p> <ul style="list-style-type: none"> 「デザート」の単語を復唱する。 | <ul style="list-style-type: none"> 音声を使って, 「デザート」の単語を復唱しながら確認できるようにする。 | 指導者用デジタルブック PD |
| | <p>【Let's try ①】 ポインティングゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 言われた PD の単語に触れる。 指導者の指す絵カードの単語を言う。 | <ul style="list-style-type: none"> 指導者が言った PD の単語に触るよう伝える。 指導者が出した絵カードの単語を言うよう伝える。 | 指導者用絵カード |
| | <p>【Let's Chant】</p> <p>① I'd like a hamburger.</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを聞き, 言えるところを言う。 | <ul style="list-style-type: none"> 一度チャンツを流し, 内容について質問する。 チャンツを再度流し, 言えるところを言うように励ます。 | 指導者用デジタルブック |
| | <p>【Starting Out】</p> <ul style="list-style-type: none"> No.1~4 の音声を聞いて, A~D の□に, 聞こえた順に番号を記入する。 | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの絵の場面や登場人物を確認する。 No.1~4 の音声を聞いて, A~D の□ | 指導者用デジタルブック WS |

| | | | |
|------------|--|--|-------------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・答え合わせをする。 ・音声や映像から分かったこと、気付いたことをWSの1に記入する。 ・分かったこと、気付いたことを発表する。 | <p>に、聞こえた順に番号を記入するよう伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答え合わせをする。 ・WSを配り、音声や映像を再度流し、分かったことや気付いたことをWSの1に記入することを伝える。必要に応じて、複数回聞かせる。 ・分かったこと、気付いたことなどを尋ねる。 ・児童が、What do you want?と What would you like?の違いに意識が向くよう指導する。 ・No.3(D)と No.4(C)の音声や映像をもう一度視聴させ、表現を確認できるようにする。 <p>【評価】○<input type="checkbox"/>主 (ていねいに注文したり、値段をたずねたりするやり取りを主体的に聞き取り、理解しようとしている)</p> | |
| 文字指導 5分 | <p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が続けて言う3文字の名前を書き取る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットチャートで小文字の名前を確認する。 ・指導者が選んだ3文字の名前を言い、小文字を書き取るよう伝える。 ・児童の実態に応じて、言うスピードを調整する。 <p>【評価】*<input type="checkbox"/>知 (複数の小文字の名前を聞き取り、書くことができる)</p> | 指導者用デジタルブック |
| まとめ 3分 | <ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り、言語に関することで気付いたこと等を発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。 ・児童が挙げた気付きに価値付けを行う。 ・挨拶をする。 | |

Unit 6 What would you like? (pp.54-61)

指導計画 4 / 8 時間 (pp.54-55)

本時目標：(仮) 場所を尋ねたり，答えたりするやり取りのおおよその内容を理解できるようにする。

主な表現：What would you like? I'd like ~. How much is it? It's ~ yen. など

準備：指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー (PD)，ワークシート (WS)，指導者用絵カード

| 時間 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 準備物 |
|---|--|---|---|
| 導入 5分 | <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。 | |
| | <p>【Small Talk】</p> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝食，給食のメニューの話から，食べてみたい食べ物の話へ よく行く飲食店の話から，好きな食べ物の話へ | <ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い，本單元で中心となる語彙や表現も入れながら，全体でやり取りしたり，個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て，全体でのやり取りと同じテーマに沿って，ペアでやり取りする。 | |
| 展開 27分 | <p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮) 場所を尋ねたり，答えたりするやり取りのおおよその内容を理解しよう。</p> </div> | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 | |
| | <p>【Let's sing】 What would you like?</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲を聞き，歌えるところを歌う。 | <ul style="list-style-type: none"> 歌えるところを歌うように声かけする。 児童が歌いづらい単語や表現があれば，確認する。 | 指導者用デジタルブック PD 指導者用絵カード WS |
| | <p>【Word Link】 PD の p.11 味など</p> <ul style="list-style-type: none"> 「味など」の単語を復唱する。 | <ul style="list-style-type: none"> 音声を使って，「味など」の単語を復唱しながら確認できるようにする。 | |
| | <p>【Let's Chant】</p> <p>②How much is it?</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを聞き，言えるところを言う。 | <ul style="list-style-type: none"> 一度チャンツを流し，内容について質問する。 チャンツを再度流し，言えるところを言うように励ます。 100 の位の数の言い方を確認する。 | |
| <p>【Starting Out】</p> <ul style="list-style-type: none"> WS の 1 を見ながら，No.1～4 の音声や映像を視聴する。 No.3 (D) と No.4 (C) の音声や映像を視聴し，WS の 2 に答えを記入する。 答え合わせをする。 | <ul style="list-style-type: none"> WS を配り，WS の 1 を確認した上で，No.1～4 の音声や映像を視聴するよう指示する。 No.3(D) と No.4(C) の音声や映像を視聴し，WS の 2 に答えを記入するよう伝える。必要であれば複数回視聴させ | | |

| | | | |
|---------------------|--|--|--------------------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ No.3 (D) と No.4 (C) の音声や映像をもう一度視聴する。 | <ul style="list-style-type: none"> る。 ・ 答え合わせをする。 <p>No.3(D)と No.4(C)の音声や映像をもう一度視聴し、表現を確認できるようにする。</p> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○<input type="checkbox"/>知 (ていねいに注文したり、値段をたずねたりするやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) ○<input type="checkbox"/>主 (ていねいに注文したり、値段をたずねたりするやり取りを主体的に聞き取り、理解しようとしている) | |
| <p>文字指導 10分</p> | <p>【Sounds and Letters】 <input type="checkbox"/>2回分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声を聞いて、終わりの音と同じ単語にチェックを入れる。 ・ 指導者が続けて言う3文字の名前を書き取る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 ・ p.95の「終わりの音①」の音声を聞いて、canの「an」と始まりの音と同じ単語にチェックを入れるよう指示する。 ・ 必要に応じて、繰り返し聞かせてもよい。 <p>【評価】 *<input type="checkbox"/>知 (単語の終わりの音に慣れ親しんでいる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者が選んだ3文字の名前を言い、小文字を書き取るよう伝える。 ・ 児童の実態に応じて、言うスピードを調整する。 <p>【評価】 *<input type="checkbox"/>知 (複数の小文字の名前を聞き取り、書くことができる)</p> | <p>指導者用デジタルブック</p> |
| <p>まとめ 3分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時をふり返り、言語に関することで気付いたこと等を発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。 ・ 児童が挙げた気付きに価値付けを行う。 ・ 挨拶をする。 | |

Unit 6 What would you like? (pp.54-61)

指導計画 5 / 8 時間 (pp.55 - 56)

本時目標：(仮) ていねいな表現で、地域のふるさと料理やおみやげなどを注文したり、注文を受けたりすることができるようになる。

主な言語材料：What would you like? I'd like ~. など

準備：指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー (PD)

| 時間 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 準備物 |
|-----------|--|--|-------------------|
| 導入 5分 | <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 | |
| | <p>【Small Talk】</p> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝食、給食のメニューの話から、食べてみたい食べ物へ 買い物に行った話から、会計の話へ | <ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い、本單元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。 | |
| 展開 32分 | <p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮) ていねいな表現で、地域のふるさと料理やおみやげなどを注文したり、注文を受けたりしよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 | |
| | <p>【Word Link】 PD の p.8 食べ物, p.9 飲み物</p> <ul style="list-style-type: none"> 「食べ物」、「飲み物」の単語を復唱する。 | <ul style="list-style-type: none"> 音声を使って、「食べ物」、「飲み物」の単語を復唱できるようにする。 | 指導者用デジタルブック PD |
| | <p>【Let's Watch and Think】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声や映像を視聴し、答えを線でつなぐ。 答え合わせをする。 | <ul style="list-style-type: none"> 紙面の写真から、料理や国名を確認する。 音声や映像を視聴し、答えを線で結ぶよう伝える。 答え合わせをする際に、ポーランドや中国、インドについて知っていることも発表するよう伝える。 | 指導者用デジタルブック |
| | <p>【Let's Listen ①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞きながら、登場人物と注文した料理を線で結ぶ。 答え合わせをする。 | <ul style="list-style-type: none"> 紙面の絵と登場人物を確認する。 音声を流して、登場人物と注文した料理を線で結ぶように指示する。 答え合わせをする。 <p>【評価】 ◎ 知 (ていねいな表現で注文するやり取りで使用される語句や表現が身についている)</p> | |

| | | | |
|---|---|--|--|
| | <p>【Let's try②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになって注文したり，注文を受けたりする。 ・ペアを替えて，やり取りを繰り返す。 ・やり取りが終わったら，何枚かの巻末絵カードを空欄に置いて，I'd like~.の表現を発話する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・PDのpp.8-9を使って，ペアになって注文したり，注文を受けたりすることを伝える。 ・AET（または児童）とモデル会話を行う。 ・やり取りが終わったら，何枚かの巻末絵カードを空欄に置いて，I'd like~.の表現を発話するよう伝え，語順に対する意識が向くようにする。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎<input checked="" type="checkbox"/>知（ていねいな表現で注文するやり取りで使用される語句や表現が身につけている） ○<input type="checkbox"/>思（ていねいな表現で注文するやり取りについて，学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして，やり取りをしている） | <p style="text-align: center;">PD</p> |
| <p style="text-align: center;">文字 指導 5分</p> | <p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて，終わりの音が同じ単語にチェックを入れる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 ・p.95の「終わりの音②」の音声を聞いて，mopの「op」と始まりの音と同じ単語にチェックを入れるよう指示する。 ・必要に応じて，繰り返し聞かせてもよい。 <p>【評価】 *<input checked="" type="checkbox"/>知（単語の終わりの音に慣れ親しんでいる）</p> | <p style="text-align: center;">指導者用デジタルブック</p> |
| <p style="text-align: center;">まとめ 3分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り，コミュニケーションの図り方や言語に関すること等気付いたこと等を発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り，児童のよかったところをほめる。 ・児童が挙げた気付きに価値付けを行う。 ・挨拶をする。 | |

Unit 6 What would you like? (pp.54-61)

指導計画 6 / 8 時間 (pp.57)

本時目標: (仮) 横浜のふるさとメニューを考えて, ペアで注文したり, 会計したりすることができるようにする。

主な言語材料: What would you like? I'd like ~. How much is it? It's ~ yen. など

準備: 指導者用デジタルブック, ピクチャーディクショナリー (PD), 巻末コミュニケーションカード

| 時間 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 準備物 |
|-----------|---|---|-----------------------|
| 導入 5分 | <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って, 挨拶したり, 体調等について答えたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って, 挨拶したり, 体調等について尋ねたりする。 | |
| | <p>【Small Talk】</p> <p>本単元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きな食べ物の話から, よく行く飲食店の話へ 飲食店で食べたもの話から, 会計の話へ | <ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い, 本単元で中心となる語彙や表現も入れながら, 全体でやり取りしたり, 個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら, 個にも尋ねていくことで, 学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て, 全体でのやり取りと同じテーマに沿って, ペアでやり取りする。 | |
| 展開 32分 | <p>【めあての確認】</p> <p>(仮) 横浜のふるさとメニューを考えて, ペアで注文したり, 会計したりしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら, この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら, この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 | |
| | <p>【Word Link】 PD の pp.4-5 数</p> <ul style="list-style-type: none"> 「数」の単語を復唱する。 | <ul style="list-style-type: none"> 音声を使って, 「数」の単語を復唱できるようにする。 10 と青文字の 20, 30 などの数の言い方を再度確認する。 100 の位の言い方と併せて, 320 や 590 といった 3 桁の数の言い方を確認する。 | 指導者用デジタルブック PD |
| | <p>【Let's try③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで, 料理の値段を尋ね合う。 | <ul style="list-style-type: none"> AET, または児童とモデル会話を行う。 PD の pp.8-9 「食べ物」「飲み物」「デザート」を使って, ペアで料理の値段を尋ね合うよう伝える。 <p>【評価】</p> <p>◎知 (ていねいな表現で注文したり, 会計したりするやり取りで使用される語句や表現が身についている)</p> | |
| | <p>【Let's Listen ②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて, () に値段を書く。 答え合わせをする。 | <ul style="list-style-type: none"> 算数で学習してきた足し算を, 英語で行うことを伝える。 音声を聞き, () の中に聞こえた値段を | 指導者用デジタルブック |

| | | | |
|--------------------|--|---|-----------------------|
| | | <p>記入するよう伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答え合わせをする。 <p>【評価】◎<input type="checkbox"/>知（どこにあるかをたずねるときにやり取りで使用される語句や表現が身につけている）</p> | |
| | <p>【Let's try④をアレンジした活動】</p> <p>①横浜発祥や、食材等が横浜にゆかりのあるメニューを、「食べ物」「飲み物」「デザート」の観点から考え、それぞれに値段設定（合計 1000 円以内）を行う。</p> <p>②考案したそれぞれのメニューを、巻末コミュニケーションカードに絵と値段をかく。</p> <p>③仕上がったカードを活用しながら、ペアで注文したり、会計したりする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が作成した見本を示す。 ・横浜発祥や、食材等が横浜にゆかりのあるメニューを考え、値段設定を行うことを伝える。 ・AET（または、児童）とデモンストレーションを行い、活動の見通しをもてるようにする。 | <p>巻末コミュニケーションカード</p> |
| <p>文字指導 5分</p> | <p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が続けて言う 3 文字の名前を書き取る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットチャートで小文字の名前を確認する。 ・指導者が選んだ 3 文字の名前を言い、小文字を書き取るよう伝える。 ・児童の実態に応じて、言うスピードを調整する。 <p>【評価】*<input type="checkbox"/>知（複数の小文字の名前を聞き取り、書くことができる）</p> | <p>指導者用デジタルブック</p> |
| <p>まとめ 3分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り、コミュニケーションの図り方や言語に関することで気付いたこと等を発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。 ・児童が挙げた気付きに価値付けを行う。 ・挨拶をする。 | |

Unit 6 What would you like? (pp.54-61)

指導計画 7 / 8 時間 (pp.57 - 58)

本時目標：(仮)「横浜発祥や、食材等が横浜にゆかりのあるメニュー」の中から、食べたいものを選んで注文したり、注文を受けて会計したりすることができるようにする。

主な言語材料：What would you like? I'd like ~. How much is it? It's ~ yen. など

準備：指導者用デジタルブック、巻末コミュニケーションカード、ふり返しカード

| 時間 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 準備物 |
|-----------|--|--|-----------------------------------|
| 導入 5分 | <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 | |
| | <p>【Small Talk】</p> <p>本单元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域にある有名な飲食店のメニューや地域の特産品の話から、横浜の有名な食べ物・特産品の話へ | <ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い、本单元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。 | |
| 展開 30分 | <p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(仮)「横浜発祥や、食材等が横浜にゆかりのあるメニュー」の中から、食べたいものを選んで注文したり、注文を受けて会計したりしよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 | |
| | <p>【Step 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自が選んだ(考案した)横浜メニューを、モデル会話にならって、ペアで注文し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> モデル映像を見せたり、AET とデモンストレーションを行ったりしながら、Step3 の活動内容を確認できるようにする。 AET, または児童とモデル会話を行う。 【評価】 ◎☹ (注文したり、注文を受けたりするために、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、やり取りをしている) | 指導者用デジタルブック |
| | <p>【Step 2 をアレンジした活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル会話にならって注文したり、注文を受けて会計したりする。 | <ul style="list-style-type: none"> AET (または児童) とデモンストレーションを行う。実際には、【Step 1】で行った会話のあとに、【Step 2】の会話が続く形となる。 【評価】 ◎☹ (注文したり、注文を受けたりするために、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け | 指導者用デジタルブック 巻末コミュニケーションカード |

| | | | |
|------------|--|--|-------------|
| | | 加えたりして、やり取りをしている) | |
| | 【中間のふり返し】 ・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って、活動をふり返る。 | ・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って確認する。 ・活動の前半をふり返り、めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ、ほめる。 | |
| | 【Step 2 をアレンジした活動】 ・中間のふり返しを生かし、同様に活動を続ける。 | ・中間のふり返しを生かし、活動を続けるよう指示する。 | |
| 文字指導 5分 | 【Sounds and Letters】 ・音声を聞いて、終わりの音が同じ単語にチェックを入れる。 | ・アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 ・p.95の「終わりの音③」の音声を聞いて、goatの「at」と始まりの音と同じ単語にチェックを入れさせる。 ・必要に応じて、繰り返し聞かせてもよい。 【評価】* <input checked="" type="checkbox"/> (単語の終わりの音に慣れ親しんでいる) | 指導者用デジタルブック |
| まとめ 5分 | ・ふり返しカードに記入する。 ・コミュニケーションの回り方に関する気づきや、言語に関する事で気付いたこと等を発表する。 | ・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。 ・「聞くときに工夫したこと」「話すときに工夫したこと」を記入するよう声かけする。 ・児童が発表した気づきに価値付けする。 ・挨拶をする。 | ふり返しカード |

Unit 6 What would you like? (pp.54-61)

指導計画 8 / 8 時間 (pp.59)

本時目標：(仮) 横浜のふるさとメニューを使ってたくさんの友達と注文したり、注文を受けて会計したりすることができるようにする。

主な言語材料：What would you like? I'd like ~. How much is it? It's ~ yen. など

準備：巻末コミュニケーションカード、オリジナルワークシート (WS)、ふり返しカード

| 時間 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 準備物 |
|-----------|--|--|-------------------------------------|
| 導入 5分 | <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 | |
| | <p>【Small Talk】</p> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域にある有名な飲食店のメニューや地域の特産品の話から、横浜の有名な食べ物・特産品の話へ | <ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い、本單元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。 | |
| 展開 35分 | <p>【めあての確認】</p> <p>(仮) 横浜のふるさとメニューを使ってたくさんの友達と注文したり、注文を受けて会計したりしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 | |
| | <p>【Step 3 をアレンジした活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自が考案した横浜メニューが記載された一覧を指導者より受け取る。 その一覧の中から、1000 円以内という条件の下、欲しいものを選んで購入する。 作成した「横浜メニュー」の巻末絵カードを机の上に並べる。 客役と店員役に分かれ、買い物活動を行う。 一通り終えたら、役を替え、同様の活動を繰り返し行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 各自が考案した横浜メニューが記載した一覧を作成し、配付する。 AET (または、児童) とデモンストレーションを行い、活動の見通しをもてるようにする。 児童の実態をふまえて設定した、コミュニケーションを図る上で育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と、そうでない姿を、デモンストレーションを通して比較できるようにする。 2 グループに分け、「店員役」と「客役」を設定する。 一通り終えたら、役を替え、同様の | <p>巻末絵カード</p> <p>巻末コミュニケーションカード</p> |

| | | | |
|-------------------|--|--|----------------|
| | <p>[会話モデル例]</p> <p>A: Hello.</p> <p>B: Hello. Welcome to ~ (店名) . What would you like?</p> <p>A: I'd like sukiyaki and ice cream.</p> <p>B: Sukiyaki and ice cream. Anything else?</p> <p>A: No, thank you. How much is it?</p> <p>B: Sukiyaki is 570 yen. Ice cream is 230 yen. 800 yen, please.</p> <p>A: Ok.</p> <p>B: Here you are</p> <p>A: Thank you.</p> <p>B: Enjoy!</p> | <p>活動を繰り返し行うよう指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困り感のある児童に対し、個別に支援する。 ・購入した「横浜メニュー」を p.62 に貼る。 <p>【評価】</p> <p>◎<input checked="" type="checkbox"/>思 (注文したり, 注文を受けて会計したりするために, 学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして, やり取りをしている)</p> <p>○<input type="checkbox"/>主 (注文したり, 注文を受けて会計したりすることに応じながら, 他者に配慮しながら主体的に伝え合おうとしている)</p> | |
| | <p>【中間のふり返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや, ふり返る際の視点に沿って, 活動をふり返る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや, ふり返る際の視点に沿って確認する。 ・活動の前半をふり返し, めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ, ほめる。 | |
| | <p>【Step 3 をアレンジした活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返しを生かし, 同様に活動を続ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返しを生かし, 活動を続けるよう指示する。 | |
| <p>まとめ 5分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ふり返しカードに記入する。 ・コミュニケーションの回り方に関する気付きや, 言語に関する事で気付いたこと等を発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返し, 児童のよかったところをほめる。 ・「聞くときに工夫したこと」「話すときに工夫したこと」を記入するよう声かけする。 ・児童が発表した気付きに価値付けする。 ・挨拶をする。 | <p>ふり返しカード</p> |